

# 委員会報告

総務経済委員会  
所管事務調査報告

## ○調査日時

平成28年2月25日

## ○調査場所

標茶町役場議員室

## 1. 調査事項

本町の今後の町営住宅について

## 2. 出席者

本多耕平委員長、櫻井一隆副委員長、黒沼治俊幸委員、松下哲也委員、渡邊定之委員、平川昌昭委員

説明員 中村義人管理課長、溜田幸仁管財係長、狩野克則建設課長、相原一久建設課長補佐、斉藤昇一建築係長

事務局 佐藤事務局長、中島事務局次長

## 3. 調査の経過及び内容

① 団地ごとの建設年度、構造、戸数、入居状況  
② 今後における一般的修繕の予定、長寿命化事業の予定、建替えの予定等に

ついて管理課、建設課より説明を受け質疑を行った。

## 4. 委員会の所見

① 本町における公営住宅管理戸数486戸うち政策空家37戸を除くと446入居世帯で99.3%の入居率となっている。今後とも民間事業者への圧迫をさけながらも長寿命化事業計画にそった管理戸数を維持して行くべきと考ええる。

② 建替えの構造等については、高齢者・障がい者が安心して居住できる構造的環境に配慮すべきである。

③ 団地住民の意見集約を年一度アンケートに基づいて行っていると聞くと明文化に管理人を置くこと明文されているので、管理人を中心として住民の意見集約をすべきである。

④ 本町に於ける29戸の町民住宅の存在は貴重なものである、特に団地地域外においての必要性が今後ますます予想される。教員住宅の空家の有効利用を最大限生かすため、教

育委員会との連携を十分に図り、住民要望のある時はスピーディーに対処していくべきと考ええる。



## 厚生文教委員会 所管事務調査報告

## ○調査日時

平成28年2月18日

## ○調査場所

標茶町役場議員室

## 1. 調査事項

本町の廃棄物処理について

## 2. 出席者

熊谷善行委員長 深見迪副委員長 後藤勲委員 川村多美男委員 鈴木裕美委員 菊地誠道委員

説明員 松本修住民課長 菊地学環境衛生係長

## 3. 調査の経過及び内容

資料に基づきエネルギー回収推進施設及び第2期最終処分場の現況と実施計画、

その他について説明を受けた。主な説明  
・エネルギー回収推進施設の現況と実施計画

平成27年11月26日、14億9,040万円で三井造船環境エンジニアリング株式会社と契約締結(同日臨時議会で可決)。

今後の実施計画は、平成28年度、杭・基礎工事、平成29年度、建築・外構工事、30年1月〜試運転、30年4月1日供用開始の予定である。

・第2期最終処分場の現況と実施計画

27年7月2日〜28年2月3日にかけて、汚水協事務局、釧路漁連、釧路市上下水道部、町建設課等と5回にわたり河川協議を行った。今後、汚水協との協定書、釧路市との同意書締結を予定している。

## ・ごみ発生抑制と計画

リデュース、リユース、リサイクルの3R、家電リサイクル法、小型家電リサイクル法等の説明とごみの発生抑制の取り組みについて説明を受けた。さらに、

一般家庭から排出されるおむつ等の無料回収も検討中であることが話された。

## ◆委員会所見

① 廃棄物処理施設の新建設について、約15億円の巨費を投じることも含め、「広報しべちゃ」でのお知らせだけではなく分別収集についての住民の協力、本町の環境問題やディスプレイ補助や小型家電リサイクル法の周知やリサイクル率向上等について、住民の意見を聞き、理解を深めるための町内会、地域振興会、業者等との懇談・説明会を開くことが必要である。

② リデュース(ごみの発生抑制)について、それを町内業者や住民だけに求めるのではなく、生産業者の負うべき義務や任務について研究し、ごみの発生抑制について認識を新たにし必要な意見具申もしていくべきである。その点で、大量生産、大量消費、大量廃棄の悪循環を地域からも考えていく必要がある。

# 平成28年第1回定例会賛否一覧

※これ以外の議案等は全員一致です。

議員名	櫻井一隆	後藤勲	熊谷善行	深見迪	黒沼俊之	松下哲也	川村多美男	渡邊定之	鈴木裕美	平川昌昭	本多耕平	菊地誠道	館田賢治	結果
意見書案第3号 再犯防止対策に関する支援の充実を求める意見書	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×		原案可決
意見書案第5号 雇用の安定を求める意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×		原案否決

○ 賛成 × 反対 退 退席 欠 欠席 (議長は、採決に加わりません。)

## 意見書

次の件の意見書が可決され、関係機関に送付されました。

◆意見書第一号  
高等教育段階における学生等への経済的支援の充実を求める意見書

家庭の経済的能力に関わらず、全ての若者が質の高い教育を受けられるよう、無利子奨学金の充実、返済が不要な給付型奨学金制度の導入などを求めたものです。

◆意見書第二号  
診療報酬を引き下げず、地域医療を守ることを求める意見書

医療機関の経営、公立病院の経営を守り、安心して住み続けることができるよう診療報酬の引き下げを行わず、公立病院の運営に対する地方財政措置の充実・確保を求めたものです。

◆意見書第三号  
再犯防止対策に関する支援の充実を求める意見書

罪を犯した人の再犯を減らし、安全・安心な社会をつくるため、更生保護施設の充実・支援、保護観察官、保護司の人材確保や処遇改善等を求めたものです。

◆意見書第四号  
子育て支援の拡充を求める意見書

保育所や学童保育の量の拡大や質の改善、子どもの貧困対策、虐待防止のための施策の強化などを求めたものです。

◆意見書第六号  
介護保険の生活援助サービスの制限中止に関する意見書

要介護1、2の人たちの介護サービスから、生活援助サービスを除外しないように求めたものです。

次の一件の意見書が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

◆意見書第五号  
雇用の安定を求める意見書

雇用の安定、正社員と派遣労働者の均等待遇、過労死防止施策の総合的な推進、長時間労働の是正のための実効性ある対策等を求めたものです。

## 平成二十七年度 補正予算可決

補正後の一般会計予算額は123億8,858万8千円となりました。

平成27年度補正予算は、一般会計9,632万4千円の増額をはじめ、国民健康保険、下水道、介護保険の各特別会計、病院、水道の各企業会計の補正があり、いずれも議会はこれを可決しました。

第一回定例会 議会公報誌から

十二月二十八日	第4回臨時会
一月十三日	広報調査特別委員会
二月十五日	釧路町村議会議長会2月定例会
二月十八日	厚生文教委員会所管事務調査
二月二十二日	総務経済委員会所管事務調査
二月二十五日	川上郡衛生処理組合議会
二月二十六日	釧路北部消防事務組合議会
三月一日	議会運営委員会
三月四日	全員協議会
三月四日 ～十日	第一回定例会
三月七日	議会運営委員会
三月八日	議会運営委員会
三月九日	議会運営委員会
三月三十日	広報調査特別委員会
四月十二日	広報調査特別委員会
四月十五日	広報調査特別委員会



おめでとう！ 磯分内小学校新校舎での卒業式

編集後記

平成28年第一回定例会が3月4日から3月10日まで、7日間の日程で行われました。

池田町長の町政執行方針では、「最重要の懸案事項である食肉加工センターの設置は、多くの課題があるが、関係機関と緊密な連携を図り最大限の努力をする」と表明しました。そして、基本設計費で3,300万円が計上されました。

今議会の予算審査特別委員会では、10名が総括質疑を行いました。児童福祉や高齢者医療、介護について活発な議論が行われました。新年度が始まり、予算も決まりましたが、今年度も町民のみならず情報提供をする「議会だより」の充実をめざします。

(文責 黒沼俊幸)